

公益財団法人群馬県スポーツ協会

平成27年度事業報告

I 生涯スポーツの振興に関する事業

1 スポーツの普及啓発に関する事業

(1) 健康スポーツ指導者バンク運営事業

少子高齢化や社会の急激な変化に伴い、県民のスポーツに対するニーズも高度化・多様化をしている。年齢や体力等に応じたスポーツの指導ができる人材の育成及び資質向上を目的とする研修会・講習会を開催するとともに、地域、職域等のニーズに応じた指導者を派遣しスポーツの指導を行うことで、県民の健康に対する意識の高揚と健康の保持増進を図った。

ア) 健康・体力づくり巡回指導

市町村・各教育委員会等へスポーツ指導者の派遣事業を紹介し、地域や職場並びにスポーツ愛好団体等のニーズに応じた健康スポーツ指導者バンク登録者を派遣した。

○健康スポーツ指導者バンク登録者	151人		
○巡回スポーツ指導	県内各地	2,304会場	62,646人
○健康スポーツ指導者指導実績	県内各地	15,622会場	223,336人

イ) 健康スポーツ指導者養成講習会

健康スポーツ指導者を養成するため、20歳以上の一般県民の中で健康スポーツ指導者を志す者や現指導者を対象に4日間（理論8時間・実技16時間）のカリキュラムで講習会を開催し資質向上を図った。

期 日 平成28年1月28日（土）～29日（日）、2月4日（土）～5日（日）
会 場 県総合スポーツセンター
参加者数 31人

ウ) 健康スポーツ指導者研修会

健康スポーツ指導者バンク登録者の資質向上を図るとともに、レクリエーションインストラクター養成講習会受講者の現場実習の履修単位として開催した。

期 日 平成27年9月12日（土）
会 場 県総合スポーツセンター
参加者数 81人

エ) 生涯スポーツ講習会

健康・体力づくりスポーツ指導者及びスポーツ愛好者を対象に、楽しめる新スポーツ等を紹介し、生涯スポーツの普及・振興を図る。

期 日 平成27年12月13日（日）
会 場 県総合スポーツセンター
参加者数 58人

(2) 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

地域に根ざしたスポーツクラブを育成し、県民が日常の中で継続してスポーツを行う環境を整備するとともに、明るく元気な地域社会づくりを推進するため、また、全市町村に少なくとも一つはクラブを育成するという目標に未育成町村解消に向けて実績豊富なクラブアドバイザーを専門スタッフとして配置するとともに、地域の実情を把握するため現地に出向いてヒアリング等を行った。

○創設クラブ 2年目 1クラブ

○現地ヒアリング実績 回数 22回

○県内総合型スポーツクラブ育成状況

クラブ数 27市町村44クラブ
育成率 77.14% (27/35市町村)

○創設支援クラブ担当者会議

第1回

期 日 平成27年6月18日(木)

会 場 館林市城沼総合体育館

参加者数 10人

第2回

期 日 平成27年9月11日(金)

会 場 館林市城沼総合体育館

参加者数 11人

2 スポーツの機会を提供する事業

(1) スポーツ体験事業

本県スポーツ人口の底辺拡大を図るため、県内の小学生を対象にスポーツをする機会を提供し、体を動かすことの爽快感、楽しさを味わってもらうための教室を開催した。

ア) チャレンジスポーツ教室

・加盟競技団体 11団体、加盟地域団体 1団体 参加者数 1,106人

イ) プロスポーツ選手等との交流教室(群馬ダイヤモンドペガサス)

期 日 平成27年8月4日(火)

会 場 県総合スポーツセンター ふれあいグラウンド

参加者数 82人

(2) 教室・公開講座開催事業

県民に誰でも気軽にスポーツに触れる機会を提供することで、スポーツの楽しさと汗をかく爽快感を味わい、健康・体力の保持増進を図るとともにスポーツを通じて仲間との交流の輪を広げることを目的に施設の特性を活かした各種教室、公開講座を開催した。

ア) テニス公開講座

期 日 平成27年8月26日～11月25日(水曜日 計8回)

9:30～11:30

会 場 県総合スポーツセンター テニスコート

参加者数 357人

イ) ナイターテニス公開講座

期 日 平成27年7月24日～9月25日(金曜日 計7回)

19:00～20:30

会 場 県総合スポーツセンター テニスコート

参加者数 300人

ウ) 初心者アイススケート教室

期 日 第1回目 平成27年12月15日(火)～18日(金)

第2回目 平成28年1月19日(火)～22日(金) 各4日間

会 場 県総合スポーツセンター アイスアリーナ

参加者数 第1回 100人、第2回 85人

エ) エンジョイ健康教室

期 日 前期 平成27年4月15日(水)～7月17日(金) 41回

中期 平成27年9月2日(水)～11月27日(金) 36回

後期 平成27年12月2日(水)～2月26日(金) 38回

水曜日・金曜日の午前と午後 計115回

会 場 県総合スポーツセンター ぐんまアリーナ

参加者数 892人

(3) 総合スポーツセンター管理運営事業

利用者の立場に立ち、生涯スポーツの振興、県民体力の保持増進、競技力向上を目指し、健康で明るく豊かなスポーツ健康立県ぐんまの実現に向けて、多種・多様なニーズに応え、安全で衛生的、省エネ環境に配慮した施設を提供するための、管理運営を実行した。また、この施設の設置目的を達成するため、管理運営上の基本方針、環境保護策等を的確に把握し、県内唯一のスポーツ団体として、いかなる社会状況下に

置いても、県民へのサービス向上を第一に、総合的な実行性を持って取り組んだ。

ア) 管理運営施設

県総合スポーツセンター、本館、ぐんまアリーナ、ぐんま武道館、弓道場、サブアリーナ、アイスアリーナ、テニスコート、ふれあいグラウンド、宿泊棟、スポーツ資料館、その他の附属施設

イ) 施設の活用

管理運営施設は、その設置目的である県民の体力増進、競技力の向上及びスポーツの普及振興に資するように、利用促進を図るとともに、大規模なスポーツイベント等の受け入れや実施事業を積極的に行い、効果的な施設の活用を図った。

○大規模大会の利用状況（58大会）

4月 4日	第16回Wリーグ女子プレーオフファイナル第2戦	2,800人
7日	平成27年度群馬大学入学式	3,000人
18日～19日	第15回全国障害者スポーツ大会	1,470人
25日・29日	前橋市中体連バスケットボール部 中体連春季大会	2,300人
25日～26日	第50回県空手道選手権大会	1,820人
26日	日前橋市中体連バレーボール部 中体連春季大会	2,130人
26日	県ボールルームダンス関東甲信越競技ダンス大会	1,550人
29日	県空手道連盟 第15回空手道フェスティバル	1,550人
5月 3日～5日	平成27年度第2回東日本クラブバスケットボール大会	2,300人
15日～17日	県高校総体各種競技大会	14,730人
24日	第24回県中学校空手道大会	3,750人
6月 6日～7日	第46回関東高等学校少林寺拳法大会	2,000人
13日～14日	県高体連空手道専門部インターハイ予選	3,150人
13日～14日	県体操協会国民体育大会体操競技県予選会	2,000人
20日～21日	県高体連剣道専門部インターハイ予選	7,000人
21日	第4回前橋市ダンススポーツ大会	1,250人
7月 5日	天皇杯・皇后杯全日本6人制バレーボール総合	1,050人
18日～19日	第54回関東実業団テニストーナメント大会	425人
24日～27日	音楽教育の会第60回全国大会	2,480人
26日	第36回県中学生空手道選手権大会	1,250人
29日～31日	平成27年度第50回群馬県中学校総合体育大会	4,150人
30日～31日	第33回関東高校弓道選手権選抜大会	1,400人
8月 14日～15日	平成27年度群馬県戦没者追悼式	1,900人
16日	第18回群馬県小学生バンドフェスティバル	3,500人
18日～20日	第8回上毛新聞社旗争奪高校剣道大会	1,840人
29日～30日	県ミニバス連盟富士スバルカップ	425人
9月 12日～13日	第42回関東ブロックレディース卓球大会	1,750人
19日～20日	県高体連剣道専門部県選手権大会	2,350人
21日	第32回群馬県マーチングバンド・バトントリング大会	3,200人
10月 3日～4日	第21回西関東小学校バンドフェスティバル	6,000人
10日～11日	第26回群馬県私立大学スポーツ大会	1,800人
17日～18日	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015ぐんま	3,030人
18日	県ボールルームダンス連盟グランドシニア競技ダンス大会	2,350人
20日～22日	第66回日本学校農業クラブ全国大会群馬大会	4,800人
11月 1日	第53回群馬県県民体育大会秋季大会	800人
1日	第41回東日本フィギュアスケート選手権大会	350人
6日	ぐんまねりんピック2015	680人
7日	全日本バレーボール高等学校選手権大会	1,450人
15日	第6回群馬県警察少年柔道剣道大会	1,100人
15日	県ボールルームダンス連盟グランドシニア大会	1,300人
12月 5日～6日	第3回全国ベテランオープン卓球ぐんま大会	1,000人
12日～13日	ぐんまオープンジュニアトーナメント	500人
19日～20日	第10回前橋市長杯ミニバスケットボール大会	1,100人
25日～27日	JM杯高等学校関東甲信越選抜大会	1,100人
25日～27日	新体操女子高崎シルクカップ大会	1,100人
1月 9日～10日	VチャレンジリーグII女子バレーボール前橋大会	1,470人
31日	ミッキー杯バドミントン大会	1,260人
31日	県空手道連盟 第8回道場対抗空手道大会	1,060人
2月 6日	第16回県マーチングバンド・バトントリングフェスティバル	690人

7日	第69回上毛かるた競技県大会	1,250人
11日	第36回群馬県なわとび競技大会	5,370人
14日	第26回東日本如月剣道大会	2,610人
14日	東日本少年柔道大会	1,750人
3月12日	第25回ミルクカップドッジボール選手権大会	2,050人
19日～20日	東日本中学校選抜剣道大会	3,000人
23日	平成27年度群馬大学各位記授与式	3,000人
26日～27日	J M杯高等学校男子選抜バスケットボール大会	1,750人
27日	群馬チャレンジカップU-13開会式	2,000人

・利用者数

平成27年度利用者数は、ぐんまアリーナ265,172人、ぐんま武道館414,996人、サブアリーナ115,111人、本館45,200人、アイスアリーナ36,329人、テニスコート（会議室を含む）121,991人、ふれあいグラウンド70,659人、宿泊室5,282人、仮設アーチェリー場3,159人の合計1,077,899人であった。

月別等の内訳は別表のとおりである。

ウ) 施設設備の維持管理

施設及び設備は、適正な保守管理、業務の委託等により、円滑な運営と維持管理に万全を図った。

○大規模工事

県スポーツ振興課の協力のもと、下記工事を実施した。

- ・ぐんまアリーナ空調設備機器改修工事
- ・ぐんまアリーナ空調設備インバーター修繕
- ・ぐんまアリーナ監視システム無停電電源装置更新
- ・テニスコートファンス出入口設置工事（B・C面）
- ・テニスコート擁壁・審判台・支柱等塗装補修
- ・本館暖房用ボイラー設備更新工事
- ・本館・ぐんまアリーナ授乳室設置工事
- ・宿泊棟食堂ガス配管更新工事
- ・アイスアリーナ冷却塔オーバーブロー装置取付工事
- ・消防設備修繕工事
- ・消火器交換118本
- ・松食い虫被害木伐採業務
- ・ぐんまアリーナ体操用平均台更新1台
- ・ぐんまアリーナ体操用得点表示板更新10台×2セット

エ) 利用料金の収納

施設利用料については、県の条例・規則に基づき利用者から徴収し、県の収入事務取扱要領に基づき適正な経理処理を行い、その全額を利用料金収入として計上した。平成27年度の利用料金収入は72,272,670円であり、内訳は別表のとおりである。

オ) 県総合スポーツセンター施設無料開放

県民が、スポーツを身近なものとして日常生活に取り入れられるように、県総合スポーツセンター施設の無料開放を次のとおり実施した。

①アイスアリーナ以外の施設

- | | | |
|------------------|------|---------|
| ・県民スポーツの日（毎月10日） | 利用者数 | 11,505人 |
| ・県民の日（10月28日） | 利用者数 | 1,748人 |

②アイスアリーナ

- | | | |
|-------------------------------|------|--------|
| ・開館初日（10月1日） | 利用者数 | 120人 |
| ・県民の日（10月28日） | 利用者数 | 520人 |
| ・開館期間中の毎月第2・第4土曜日
（小中学生対象） | 利用者数 | 2,074人 |

カ) 季刊誌の発刊

当施設季刊誌「Sports Season」を年4回季節ごとに作成し、利用者や来館者に対して施設の利用方法や大会予定、各種教室の紹介等を行った。

- ・発行部数 NO.17号～NO.20号 各号 4,000部

(4) スポーツ情報提供事業

各種スポーツ事業の紹介やスポーツに関する情報を本協会ホームページ及び刊行物等で発信することにより、スポーツ活動に対する理解やスポーツへの興味関心を高め、県民により多くのスポーツの機会を提供した。

ア) ホームページの運営

本協会の組織や各種事業の紹介、また国民体育大会やスポーツ少年団各種大会等の結果を掲載したり、各種スポーツ教室等の開催要項や県総合スポーツセンター各施設の利用情報を掲載するなど広く県民にスポーツの情報を発信した。

イ) 刊行物の発刊

刊行物として「ぐんまのスポーツ」、「年報」を発刊し、いずれの刊行物も無償で加盟団体及び関係団体に配布した。

- ①「ぐんまのスポーツ」事業紹介・各種大会の結果等（年2回） 650部
- ②「年報」毎年の事業記録、事業報告や研究調査の成果等（年1回） 600部

ウ) スポーツライブラリー

県総合スポーツセンター本館1階にスポーツ情報提供コーナーを設置し、スポーツ図書等を定期的に購入して、県民に対し無料閲覧及び無料貸出等の情報提供サービスを行った。

3 青少年スポーツの健全な育成に関する事業

(1) 青少年スポーツ育成事業

スポーツ少年団活動を通じて、そこから生まれる喜びや楽しさが新たな感動を呼び起こし、さらには協調性や想像性など、生きるうえで基本となる豊かな情操を養う。また、スポーツを通じて社会のルールを学び相手を思いやる心を養うなど良き社会人への成長に結びつけることを目的に下記事業を実施した。

ア) スポーツ少年団大会開催事業

各種目を愛好するスポーツ少年団員を一堂に会し、技術の向上と競技の喜びを体験させるとともに、団員相互の親睦を図り、少年スポーツの健全な発展を目的として下記大会を実施した。

- 第34回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 群馬県予選会
期日 平成27年5月9日(火)～6月21日(日)
実施種目 軟式野球・空手道・バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン 計5種目
会場 県総合スポーツセンター その他県内各会場
参加団員数 1,831人
- 第51回群馬県スポーツ少年団大会
期日 平成27年8月1日(土)・2日(日)
実施種目 サッカー・バレーボール・ミニバスケットボール・ソフトボール・卓球・柔道・剣道・レスリング 計8種目
会場 県総合スポーツセンター その他県内各会場
参加団員数 3,938人
- 群馬県スポーツ少年団競技別交流大会
期日 平成27年5月23日(土)～平成28年2月28日(日)
実施種目 軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン・ソフトテニス・ソフトボール・柔道・スケート・スキー 計9種目
会場 県総合スポーツセンター その他県内各会場
参加団員数 4,710人
- スポーツ少年団全国・関東派遣事業

大会名	期日	会場及び競技	参加者数
関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会	平成27年 7月24日(金)～26日(日)	東京都 軟式野球・バレーボール・ミニバス・バドミントン 空手道(6チーム)	114人
全国スポーツ少年団バレーボール交流大会	平成28年 3月27日(日)～30日(水)	福岡県北九州市 バレーボール	11人

全国スポーツ少年団 剣道交流大会	平成28年 3月26日 (土) ～28日 (月)	鹿児島県鹿児島市 剣道	8人
全国スポーツ少年大会	平成27年 8月 1日 (土) ～ 4日 (火)	宮城県大崎市	10人
関東ブロックスポーツ 少年大会	平成27年 8月21日 (金) ～23日 (日)	東京都	8人

イ) スポーツ少年団顕彰事業

永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある単位団及び登録指導者を表彰した。また、顕著な功績のあった者へ感謝状を贈呈した。

○功労者・優良単位団表彰式

期 日 平成28年2月27日 (土)

会 場 県総合スポーツセンター

受賞者人数 群馬県表彰 優良単位団31団体 功労者54人

日本本部表彰 市町村表彰3市町村 功労者 4人

ウ) スポーツ少年団指導者養成等事業

スポーツ少年団の育成指導にあたる指導者の資質向上と意識の高揚を図り、少年団活動におけるより一層の活性化を促進するため研修会・講習会を開催した。地域におけるスポーツ少年団活動の活性化を図るとともに、単位団及び地域の将来にわたる後継者の養成を目指し、日本スポーツ少年団リーダー制度に基づくジュニア・リーダースクールを開催した。

事業名		期日及び会場	参加者数
講習会 ・ 研 修 会	指導者研究大会	平成28年 1月17日 (日) 県総合スポーツセンター	50人
	育成母集団研修会	平成27年 8月29日 (土) 桐生市	43人
	認定員養成講習会 (兼スポーツリーダー 養成講習会)	平成27年11月28日 (土)～29日 (日) 玉村町	253人
		平成27年12月 5日 (土)～ 6日 (日) 南牧村	91人
		平成27年12月19日 (土)～20日 (日) みなかみ町	68人
		平成28年 1月16日 (土)～17日 (日) 明和町	117人
	認定員研修会・再研修会	平成27年12月 6日 (日) 県総合スポーツセンター	59人
ジュニア・リーダースクール	平成27年 9月19日 (土)～21日 (月) 国立赤城青少年交流の家	40人	

エ) スポーツ少年団フェスティバル

交歓・ゲーム活動を通して、団員相互の交流を図り、青少年のこころとからだを育てるとともに、それぞれの少年団や地域において活躍のできる中学生・高校生リーダーの育成を図った。

期 日 平成28年3月13日 (日)

会 場 県総合スポーツセンター

参加者数 250人

オ) 日独スポーツ少年団同時交流事業 (派遣)

両国間の優れた青少年指導者・団員が、同期間に同人数を相互に交換 (派遣・受入) する同時交流を行い、スポーツ活動や民泊を取り入れ相互の文化・生活習慣を実際に体験することで、相手の国や文化を理解することや共通テーマに基づ

くディスカッション等により交流を深め、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的として、日独両国間の交流事業を実施した。
なお、平成27年度はドイツへ団員を派遣した。

期 日 平成27年7月31日（金）～8月17日（月）
派遣人数 団員1人

4 各種大会を通じ社会参加を促進する事業

(1) 社会参加促進事業

スポーツによって、年齢や障がいの有無に関係なく誰もが生きがいのある豊かな生活を営むことが出来る社会の創造を目指し、下記の2つの大会を受託事業として開催した。

ア) ぐんまねりんピック2015（県長寿社会づくり財団からの受託）

スポーツや文化活動を通じて、高齢者の健康の保持増進と交流を図り、県民総スポーツの輪を広げるとともに、生きがいづくりを進め、ふれあいと活力ある長寿社会づくりを推進した。

期 日 平成27年11月6日（金）
会 場 県総合スポーツセンター その他県内各会場
対 象 県内在住の昭和32年4月1日以前に生まれた人で、大会参加に支障のない健康な者
種 目 ゲートボール、スマイルボウリング、ペタンク、ソフトボール、テニス、ソフトテニス、卓球、グラウンドゴルフ、弓道、剣道、水泳、マラソン、なぎなた、太極拳、囲碁、将棋、健康マージャン
参加者数 1,903人

イ) 群馬県障害者スポーツ大会2015（県障害者スポーツ協会からの受託）

障がい者がスポーツを通じて交流を深めながら、体力の維持増強と障がい者スポーツの発展を図るとともに、県民の障がい者に対する正しい理解と認識を深め、障がい者の自立と社会参加を促進した。

期 日 平成27年9月20日（日）・27日（日）・10月4日（日）
会 場 県立ふれあいスポーツプラザ
対 象 13歳以上の身体障がい者
種 目 陸上、水泳、卓球、アーチェリー、フライングディスク、軽スポーツ
参加者数 350人

II 健康増進・体力向上に関する事業

5 県民体力づくり相談に関する事業

(1) 県民体力づくり相談事業

現代の生活環境では運動不足や食生活の変化、日常生活のストレスの増加により生活習慣病などの問題を抱える人が増えている。そのため、県民が健康で快適に生活できるように、安全で無理のない運動・スポーツ指導を行い、健康の保持増進・体力の向上を図れるよう「県民体力づくり相談事業」として、県民のスポーツニーズ（レベル）に応じた各種測定・メディカルチェック及び栄養指導を実施した。

ア) メディカルチェック・体力測定及び栄養指導の実施

健康体力測定では理学療法士、臨床検査技師及び本協会のスポーツ医科学委員会に所属する内科・整形外科の日体協公認スポーツドクター等の専門家との連携及び協力により医学的な検査を行った。さらに、栄養面では栄養調査結果から管理栄養士が、個々の食生活についてアドバイス・指導を行った。これらの結果に基づいた運動プログラムの作成や助言・指導することで県民の健康・体力づくりへの関心をより一層高めるとともに医科学面からも体力の向上や健康的な生活ができるようサポートを実施した。

○県民へのメディカルチェック・体力測定等の実績

測定の種類等	実施日数	測定者数	一般	競技者
健康・体力測定	5日	157人	5人	152人
新体力測定	21日	1,388人	1,354人	34人
体力測定	10日	86人	2人	84人

筋力測定	19日	222人	0人	222人
最大酸素摂取量測定	4日	10人	3人	7人
合 計	59日	1,863人	1,364人	499人

- イ) メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム予防のための運動指導
 企業や高齢者団体に対して体力測定を積極的に行い、日常生活の中で身体活動をより一層取り入れ、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドロームの予防を図り、健康・体力の保持増進が図られるよう運動指導を行った。

・出張新体力測定 年10回 延参加者 339人

6 スポーツ医科学の普及に関する事業

(1) スポーツ医科学普及事業

県民が生涯にわたり、安全で効果的にスポーツを行うことができるよう、薬物に対する意識を高め、スポーツ障（傷）害への対処方法等を指導し、健康状態に応じたスポーツを行うことができるよう下記事業を実施した。

ア) アンチドーピング事業

国体選手を中心とした健全なスポーツ活動の推進を目的に、本県選手の薬物使用・誤用への認識を高め、ドーピング防止教育・啓発活動を積極的に実施した。ドーピング防止の教育・啓発活動のための資料収集と情報提供、選手・指導者を対象としたドーピング関係書類の配布、アンチ・ドーピング推進班による会議の開催及び研修事業参加、国体結団式での選手・監督等への直接指導、ドーピングに関する問い合わせへの対応を行い、ドーピング防止の教育・啓発活動に努めた。

○アンチ・ドーピング指導

期 日 平成27年8月7日（金）・9月1日（火）・18日（金）
 平成28年1月5日（火）・22日（金）
 会 場 県総合スポーツセンター 他
 対 象 国民体育大会 本県代表監督及び選手等

イ) スポーツドクター養成研修事業

スポーツ愛好者及び競技選手がスポーツ障（傷）害の予防や、効果的に競技力向上が達成できるように、日体協公認スポーツドクターを養成する研修会を県医師会・医療機関と連携し実施した。また、県内のスポーツドクターの資質向上を図るため、スポーツドクター協議会と連携し、県内で開催する各種大会へ医事協力、スポーツドクター会員の定期的研修会の開催、県内地域で講演会講師の派遣等を実施し公認スポーツドクターの活動の充実を図った。

○スポーツドクター研修会

期 日 平成27年4月18日（土）
 会 場 県総合スポーツセンター
 参加者数 54人

ウ) トレーナー養成講習会事業

スポーツ愛好者及び競技選手の健康管理、障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等の指導・助言を行い競技力向上対策を効果的に行うため本協会認定アスレティックトレーナー養成講習会を実施した。

○アスレティックトレーナー養成講習会

期 日 平成27年11月19日（木）・20日（金）
 会 場 県総合スポーツセンター
 参加者数 8人

エ) スポーツ医事相談事業

健康の保持増進やスポーツに関わる障害等の早期発見、早期治療及びその予防等について、電話等により相談を受付けて、県内の公認スポーツドクター医療機関を紹介した。また、スポーツ医科学に関する講演会を日体協公認アスレティックトレーナー、医師、大学教授、スポーツ医科学委員会等の協力のもと、各市町村14会場において、「スポーツ医科学講演会」を実施した。

No	市町村名	期 日	演 題	参加者数
1	富岡市	平成27年 7月10日(金)	スポーツ傷害予防、ストレッチ講座	112人
2	安中市	平成27年 8月26日(水)	子供から大人まで行える体幹トレーニング	25人
3	館林市	平成27年 9月 2日(水)	ストレッチと体幹トレーニング (ロコモティブシンドロームの予防)	90人
4	邑楽町	平成27年 9月 9日(水)	やる気にさせるコーチング	80人
5	甘楽町	平成27年10月 2日(金)	成長期におけるトレーニング方法	50人
6	前橋市	平成27年10月 7日(水)	中高年のトレーニングとストレッチ	75人
7	嬭恋村	平成27年10月 8日(木)	成長期におけるスポーツと栄養	17人
8	藤岡市	平成27年10月21日(水)	子供の体力の現状と今後の課題	43人
9	長野原町	平成27年11月12日(木)	スポーツ傷害予防のためのストレッチ講座・体幹トレーニング	42人
10	草津町	平成27年11月18日(水)	やる気にさせるコーチング	35人
11	桐生市	平成27年11月26日(木)	スポーツ傷害予防のためのストレッチ講座・体幹トレーニング	80人
12	渋川市	平成27年12月 9日(水)	子供の成長期におけるスポーツ傷害予防とその処置	91人
13	中之条町	平成28年 2月 3日(水)	体力トレーニングについて	30人
14	下仁田町	平成28年 2月21日(日)	腰痛・膝痛の予防と改善策など	128人
14市町村				898人

III 競技力向上を推進する事業

7 国民体育大会への選手等選考及び派遣に関する事業

(1) 国民体育大会等派遣事業

国民体育大会本大会及び関東ブロック大会において、本県選手が活躍することは、県民へ感動と活力を与えるとともに、スポーツへの意識を高め、各種スポーツの普及振興にも寄与すると考える。本県選手団が活躍するため、競技力の高い代表選手の選考及び開催地への派遣等の諸事業を実施した。

ア) 選手・監督の選考、選手団等の派遣

各加盟競技団体の予選会を通過した優秀な選手の参加条件を確認後、国民体育大会推進委員会で選考し、本県代表として派遣した。

イ) 激励活動

国民体育大会へ出場する本県選手団を県当局と連携し、激励した。

大会名及び事業名	期日	会場及び競技名
第70回国民体育大会 関東ブロック大会	平成27年 6月 7日 (日) ～ 8月24日 (月)	埼玉県下 カヌー競技ほか32競技 選手・監督 663人
〃 本大会会期前	平成27年 9月 6日 (日) ～9月13日 (日)	和歌山県下 水泳競技・体操競技・セーリング競技 選手・監督 59人
〃 監督会議・結団式	平成27年 9月15日 (火)	県総合スポーツセンターぐんま武道館 〃 第1研修室
〃 本大会	平成27年 9月26日 (土) ～10月 6日 (火)	和歌山県下 陸上競技ほか36競技 選手・監督 306人
第71回国民体育大会 冬季大会スケート・アイスホッケー	平成28年 1月27日 (水) ～1月31日 (日)	岩手県下 スケート・アイスホッケー競技 選手・監督 58人
〃 冬季大会スキー	平成28年 2月20日 (土) ～2月23日 (火)	岩手県下 スキー競技 選手・監督 47人

ウ) 成績

第70回国民体育大会成績

天皇杯 22位 (得点 997.5点) 皇后杯 19位 (得点 569点)

第71回国民体育大会冬季大会成績

天皇杯 17位 (得点 96.5点) 皇后杯 16位 (得点 48点)

8 スポーツ指導者養成に関する事業

(1) 指導者養成事業

県民が、スポーツを安全で、正しく、楽しくできるように、指導・助言ができる公認スポーツ指導員の講習会を実施した。

ア) スポーツ指導員養成講習会

地域スポーツクラブやスポーツ教室等において、参加者の年齢や性別など対象者に合わせた競技別の技術指導等にあたる者を養成する事業であり、日本体育協会がNHK通信講座を活用して共通科目を担当し、本協会が専門科目を委託事業として実施した。

また、講習会・研修会を通じ、自己の役割や責任及び人道的問題（指導者の競技選手に対する暴力やセクシャル・ハラスメント）について指導をした。

○公認上級スポーツ指導員養成講習会（専門科目）

対象競技団体 バドミントン競技

受講者数 14人

○公認上級スポーツ指導員養成講習会（共通科目）

期 日 平成27年12月12日（土）・13日（日）・19日（土）

会 場 県総合スポーツセンター

受講者数 13人

イ) スポーツ指導者研修会

公認スポーツ指導者制度の有効期限は4年間であり、4年毎に更新するための義務研修として開催するとともに、スポーツに関する最新の知識や情報を獲得し、指導場面で実践できるような資質を向上させることを目的として年2回実施した。

○第1回スポーツ指導者研修会

期 日 平成27年 7月11日（土）

会 場 県総合スポーツセンター

演 題 講演Ⅰ：「人を見て法を説く～私のチームづくり人づくり～」

講演Ⅱ：「スポーツ指導中の体罰と法的責任」

参加者数 135人

○第2回スポーツ指導者研修会

期 日 平成27年11月21日(土)
 会 場 県総合スポーツセンター
 演 題 講演Ⅰ:「スポーツ指導で失敗しないために」
 講演Ⅱ:「選手と共に成長する」
 参加者数 150人

ウ) スポーツ指導者協議会育成事業

県内の日本体育協会公認スポーツ指導者が共通認識を持ち、資質向上及び指導力向上を図ることを目的とした群馬県スポーツ指導者協議会が組織されている。その組織を育成することは本協会の目的である指導者の育成に繋がると考えることからその運営に対し支援、助成をした。

9 競技力向上・選手強化対策に関する事業

(1) 競技力向上対策事業

県内スポーツ選手が国際大会や全国大会で活躍する姿は、郷土意識を盛り上げ多くの県民に感動や活力を与えることになる。「ぐんまスポーツプラン2011」に基づき、本県が高い水準で安定した競技力を確保し、各種大会等において、優秀な成績を収めるため、経済的基盤の整備や指導者の確保、一貫指導体制の確立等に取り組み、競技力向上の推進を図った。

ア) 団体対策推進事業

競技団体等の強化・育成事業の推進及び各競技団体・学校スポーツ団体の強化体制や強化組織の育成と、競技力の向上を図るために団体対策費として、各競技団体に補助金を交付した。

- ① 競技団体対策 (加盟競技団体)
- ② 高校生対策 (県高等学校体育連盟)
- ③ 中学生対策 (県中学校体育連盟)
- ④ 関東ブロック突破等対策プロジェクト (加盟競技団体、県高等学校体育連盟)

イ) ぐんまスーパーキッズプロジェクト事業

県内の小学生を対象に、体力・運動能力に優れた人材を早期に発掘し、関係団体との連携・協力により、発育段階に応じた計画的・継続的な育成を図り、トップレベルの選手を輩出することを目的として事業を実施した。

・実施競技及び人数

スキー競技20人・水泳競技14人・陸上競技33人

ソフトボール競技5人・空手道16人・ボウリング15人・ゴルフ19人

・選考会

期 日 平成27年 5月31日(日)

会 場 県総合スポーツセンター

参加者数 112人

・認定式

期 日 平成27年 6月27日(土)

会 場 群馬大学

認定者数 56人

・研修会

期 日 平成27年12月 5日(土)

会 場 県総合スポーツセンター

参加者数 92人

ウ) 拠点施設活用事業

各競技団体が公共スポーツ施設等を活用した選手強化拠点を定め、一貫指導体制による全国トップレベルの競技者の育成を目的とした事業に対し、助成を行った。

団体名	拠点施設名	団体名	拠点施設名
県スケート連盟	県総合スポーツセンター 伊香保スケートリンク	県アイスホッケー連盟	県総合スポーツセンターアイスアリーナ・伊香保リンク

県レスリング協会	館林市城沼総合体育館	県スキー連盟	尾瀬ほたか高原スポーツパーククロスカントリーコース
県ソフトテニス連盟	県総合スポーツセンターテニスコート、あかぼり運動公園テニス場	群馬陸上競技協会	県立敷島公園補助競技場
県弓道連盟	伊勢崎市あずま弓道場	県水泳連盟	県立敷島公園水泳場
県ラグビーフットボール協会	下豊岡グラウンド、八千代グラウンド、島村グラウンド	県ホッケー協会	みなかみ町月夜野緑地施設内運動広場
県ボクシング連盟	安中市民体育館、伊勢崎工業高校ボクシングジム、高崎工業高校ボクシングジム		

エ) ジュニア指導者派遣事業

情熱ある専門的指導者をジュニア選手の活動場所である運動部やクラブ等に派遣し、全国トップレベルのジュニア選手を育成して競技力の向上を図った。

団体名	活動場所	指導種目	指導者名
県スケート連盟	孺恋高校	スピードスケート	黒岩宗一郎
県スキー連盟	片品村立片品中学校	スキー(クロスカントリー)	笠原 千裕
県山岳連盟	クライミングジムウォールストリート	山岳(リフト・ホルディング)	北村 咲子
県アーチェリー協会	高崎商科大学附属高校	アーチェリー	大塚 謙史

オ) マネジメントコーチ推進事業

全国・世界レベルの競技者を育成するために、各競技団体にマネジメントコーチを設置した。マネジメントコーチは「ぐんまスポーツプラン2011」の方向性に沿って各競技団体の組織・体制を整備し、競技力向上対策を企画・推進することにより競技力の向上を図った。

○委嘱式

期 日 平成27年4月25日(土)
 会 場 県総合スポーツセンター
 委嘱者数 39人

○検討会議

期 日 平成28年2月6日(土)
 会 場 県総合スポーツセンター
 参加者数 25人

カ) スポーツ指導者養成事業

○スポーツセミナー

各競技団体、学校スポーツ団体で選手強化の中心的役割を果たす指導者を対象に、各競技に共通した情報や全国・世界のスポーツ情報を提供し、指導者の資質の向上を目的にスポーツセミナーを開催した。

期 日 平成28年2月28日(土)
 会 場 県総合スポーツセンター
 演 題 「筋力アップのための基本要素」
 参加者数 117人

○中央指導者招聘研修会

各競技団体や学校スポーツ団体で情熱のある指導者の養成と資質の向上を図るため、全国的に実績ある指導者を招聘し研修会を実施した。

実施団体名		
県アイスホッケー連盟	県ボクシング連盟	県アーチェリー協会
群馬陸上競技協会	県体操協会	県空手道連盟
県水泳連盟	県ソフトテニス連盟	県高等学校体育連盟
県テニス協会	県バドミントン協会	県中学校体育連盟

キ) 全国等競技力分析事業

国民体育大会本大会及び関東ブロック大会等の大会開催地に、強化委員や支援スタッフを派遣することにより、全国・関東大会の競技レベルを分析し、本県の競技力レベルの向上に役立てた。

大会名	選手強化委員	支援スタッフ
国体関東ブロック大会	1人	12人
国体本大会	3人	17人
国体スケート・アイスホッケー競技会	1人	1人
国体スキー競技会	1人	2人
合計	6人	32人

ク) スポーツ医科学活用事業

競技力向上対策事業全般の評価・分析及び結果のフィードバック等を担当するスポーツ医科学スタッフの確保と活用を図るために、県総合スポーツセンターを医科学研究拠点として位置づけ、本協会強化指定選手及び指定競技団体の競技力向上を目指した各種測定やメディカルチェック、心理テスト等の研究を実施し、強化現場にフィードバックを行った。

○本協会強化指定選手等のメディカルチェック・体力測定のフィードバックの実施

測定の種類等	実施日数	測定者数	成年	少年
健康・体力測定	15日	241人	45人	196人
体力測定	10日	62人	0人	62人
筋力測定	28日	301人	45人	256人
最大酸素摂取量測定	13日	65人	5人	60人
合計	66日	669人	95人	574人

○現地栄養指導の実施

期 日 平成27年8月18日(火)
 会 場 つちや旅館
 実施団体 県高体連スケート専門部
 参加人数 19人

期 日 平成27年12月18日(土)
 会 場 榛名湖 旅館 高原
 実施団体 県高体連スケート専門部
 参加人数 45人

ケ) ぐんまオリンピック・パラリンピックチャレンジ事業

○アスリートサポート事業

オリンピック・パラリンピックや国際大会で本県選手が活躍してもらうため、アスリートを支えるトレーナー等に係る経費の補助並びに、合宿や遠征費用等を補助した。

競技名	認定選手数	競技名	認定選手数
陸上	3人	フェンシング	2人
水泳	3人	ラグビーフットボール	2人
レスリング	2人	カヌー	1人
ウエイトリフティング	1人	アーチェリー	1人
ハンドボール	1人	パラリンピック陸上	1人
自転車	2人	パラリンピック水泳	1人

- ドリームロード事業
中学生アスリート及びその指導者を強化指定し、競技力向上の意識を高めた。

認定選手 21名

競 技 名		
スケート	バレーボール	卓球
スキー	体操（体操・新体操）	柔道
陸上	バスケットボール	バドミントン
水泳（競泳・水球）	ウエイトリフティング	トライアスロン
サッカー	ハンドボール	ゴルフ
テニス	フェンシング	
ボクシング	自転車	

認定指導者 19名

競 技 名		
スケート	ボクシング	フェンシング
スキー	バレーボール	自転車
陸上	体操（体操・新体操）	卓球
水泳（競泳・水球）	バスケットボール	柔道
サッカー	ウエイトリフティング	バドミントン
テニス	ハンドボール	

10 競技力向上支援に関する事業

（1）オリンピック・パラリンピック選手支援事業

オリンピックや世界大会等において活躍が期待できるが、活動費等が十分でない現役トップアスリートを支援し、本県スポーツの競技力向上を図った。
なお、活動支援の財源は協力企業からの寄付金とした。

支援選手名	競技名	主な成績
柿崎 史穂	カヌー	アジア大会 K-2 500m 3位
諸貫 瑛美	水泳	日本実業団水泳競技大会 100m背泳ぎ 1位

（2）大会等支援事業

各種大会の開催及び海外派遣選手に対し支援することで、県民のスポーツへの興味関心を高め、スポーツの底辺拡大を図った。

ア) 海外派遣選手壮行補助事業

本県選手等が海外競技会（オリンピック・世界選手権・アジア大会等）に参加することは、県民へのスポーツの興味関心を高めるとともに夢と感動を与えることから、海外競技会に参加する選手等に対し、壮行金を交付した。

大会名	交付者数
世界選手権出場者	8人
アジア競技大会出場者	14人

イ) 県小体研記録会補助事業

県小学校体育研究会が開催する陸上、水泳教室記録会開催のために補助金を交付し児童のスポーツ普及・育成を図った。

- 第45回小学生水泳記録会
期 日 平成27年8月7日（金）
会 場 県立敷島公園水泳場
参加者数 860人

- 第44回小学生陸上記録会
期 日 平成27年10月28日（水）
会 場 正田醤油スタジアム群馬
参加者数 1,508人

○スポーツ普及
飛び込み指導の実践DVDを県下小学校へ配布

○群馬県小学校体育学習研修会
期 日 平成27年7月22日(水)
会 場 県総合スポーツセンター
演 題 「これからの小学校体育科に求られていること」
参加者数 220人

ウ) 県民体育大会補助事業
県民を対象に開催している県民体育大会の実施競技団体に補助金を交付し大会の支援を行った。

大会名	期 日	会 場	成 績 及 び 人 数
夏季大会(水泳)	平成27年 8月23日(日)	県立敷島公園水泳場	優 勝 前橋市 参加者数 515人
秋季大会 (21競技)	平成27年11月1日(日)・8日(日)	県総合スポーツセンター 他15会場	市の部優勝 高崎市 郡の部優勝 吾妻郡 参加者数 6,565人
冬季大会 (スケート)	平成28年 2月 6日(土)	県総合スポーツセンター伊香保リンク	優 勝 渋川市 参加者数 387人
冬季大会 (スキー)	平成28年 2月20日(土)・21日(日)	丸沼高原スキー場	優 勝 高崎市 参加者数 503人

(3) スポーツ顕彰事業

本県のスポーツの振興と発展に貢献した個人・団体の功績を讃え、競技力の向上とスポーツの振興及び郷土意識の高揚に資することを目的に下記の表彰を行った。

○群馬県スポーツ協会長賞表彰
期 日 平成28年2月24日(水)
会 場 県総合スポーツセンター
受賞者数 特別功労者賞 3人
スポーツ功労者賞 41人
最優秀選手賞及び最優秀指導者賞 147人
優秀選手賞 280人
ジュニアスポーツ奨励賞 143人

IV 本協会の運営

1 理事会等の運営

	会議等名	期 日	議事等
理 事 会	第10回理事会(通常)	平成27年 5月29日(金)	平成26年度事業報告及び決算等
	第11回理事会(臨時)	平成27年 6月17日(水)	会長・副会長・理事長及び業務執行理事の選定等
	第12回理事会(臨時)	平成27年 9月 1日(火)	副会長の選定等(書面評決)
	第13回理事会(臨時)	平成27年 11月26日(木)	第83回国民体育大会の招致活動について
	第14回理事会(臨時)	平成28年 1月15日(金)	平成27年スポーツ協会長賞選考等
	第15回理事会(通常)	平成28年 3月18日(金)	定款の変更及び平成27年度補正予算・平成28年度事業計画及び予算等
評 議	第5回評議員会(定時)	平成27年 6月17日(水)	平成26年度事業報告及び決算等
	第6回評議員会(臨時)	平成27年 9月12日(土)	役員を選任について

員 会	第7回評議員会（臨時）	平成28年 3月25日（金）	定款の変更及び平成27年度補正予算・平成28年度事業計画及び予算等
委 員 会	総務委員会	平成27年 5月22日（金）	平成26年度事業報告及び決算等
		平成28年 1月15日（金）	平成27年スポーツ協会長賞選考等
		平成28年 3月15日（火）	平成27年度補正予算・平成28年度事業計画及び予算等
	生涯スポーツ推進委員会	平成27年 7月10日（金）	日体協公認スポーツ指導者等表彰候補者の推薦・県民体育大会の交付金等
		平成28年 2月12日（金）	平成28年度生涯スポーツ関係事業
	選手強化委員会	平成27年 4月16日（木）	平成27年度競技力向上対策費団体対策推進事業費、平成27年度強化指定選手及び運動部（冬季競技）等
		平成27年 5月31日（日）	ぐんまスーパーキッズプロジェクト2015選手選考等
		平成27年 6月19日（金）	ぐんまオリンピック・パラリンピックチャレンジ事業選手指導者選考、平成27年度競技力向上対策費団体対策推進事業特別強化対策事業費等
		平成27年 7月 9日（木）	第70回国体本大会支援スタッフ、国体に向けての激励、計画等
		平成27年 9月 3日（木）	平成27年度強化指定選手及び運動部等
		平成27年10月29日（木）	平成27年度競技力向上対策費団体対策推進事業費（後期）、強化指定選手の追加等
		平成28年 2月16日（火）	ぐんまスーパーキッズ2016新規実施競技並びに実施継続期間、平成28年度競技力向上対策競技団体強化事業費の通年算出等
		平成28年 3月16日（水）	平成28年度競技力向上対策費予算、競技スポーツ推進計画、競技力向上対策事業計画、平成28年度オリンピック・パラリンピック選手支援事業等
	国民体育大会推進委員会	平成27年 7月 1日（水）	平成27年度国民体育大会推進委員会予定、国民体育大会参加基準等
		平成27年 8月 7日（金）	第70回国民体育大会選手団選考（1）等
		平成27年 9月 1日（火）	第70回国民体育大会選手団選考（2）等
		平成28年 1月 5日（火）	第71回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会選手団選考等
		平成28年 1月22日（金）	第71回国民体育大会冬季大会スキー競技会選手団選考等
	スポーツ医科学委員会	平成27年 7月 1日（水）	平成26年度事業報告について 平成27年度事業計画について
	諸 会 議 等	加盟競技団体等理事長・事務担当者・選手強化担当者合同会議	平成27年 4月23日（木）
監事監査		平成27年 5月20日（水）	平成26年度事業報告及び決算に係る会計監査
本協会関係者親睦ゴルフ大会		平成27年 7月21日（火）	赤城国際カントリークラブ
第70回国民体育大会本大会反省会		平成27年11月13日（金）	第70回国民体育大会本大会の反省と協議
新年懇親会		平成28年 1月 6日（水）	前橋テルサ

平成28年度競技団体別選手強化担当者会議、第71回国民体育大会冬季大会反省会	平成28年 3月 3日 (木)	第70回国民体育大会の反省に基づく第71回国民体育大会への課題と強化対策・第71回国民体育大会冬季大会の反省と対策
--	-----------------	---

2 事務局の運営

(1) 加盟団体及び群馬県との連携

(2) 本協会が実施する事業推進のため、自主財源の確保に努めた。

ア) 賛助会員の募集実績

72件 1,255,000円

イ) オリンピック・パラリンピックに向けての選手競技力向上事業における寄付金の募集実績

17件 4,980,000円